

医工連携推進協議会通信

令和 5 年夏季号（令和 5 年 6 月発行）

令和 5 年度「中海・宍道湖・大山圏域 産学・医工連携推進協議会総会」

～令和 5 年 6 月 30 日・書面審査により開催～

令和 5 年度通常総会については、3 年振りの対面での開催を計画しましたが、各委員の日程が整わなかったため、誠に残念ながら、書面審査により開催しました。ただし、構成団体のご意見やご意向を直接に伺いたく、事務局から各委員を訪問して説明と意見交換を行いました。

- ・議案第 1 号 令和 4 年度事業報告並びに収支決算について【報告・承認案件】
- ・議案第 2 号 令和 5 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について【議決案件】（※事業計画指針・下記）
- ・議案第 3 号 役員改選について【報告・承認案件】

各委員の審査結果を令和 5 年 6 月 30 日に取りまとめたところ、全会一致で可決・承認をいただき、提出原案のとおり成立しました。

本協議会は、これに基づき令和 5 年度事業を積極的かつ効果的に実施して参りますので、構成団体・賛助会員各位のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

中海・宍道湖・大山圏域 産学・医工連携推進協議会 令和 5 年度事業計画（指針）

本協議会は、これまで中海・宍道湖・大山圏域（以下単に「圏域」といいます。）においてセミナー開催や視察研修等の啓発活動をはじめ、具体的に事業を推進する「産学・医工連携推進プロジェクト」を構成し、数多くの圏域のものづくり企業等に賛助会員として入会いただいたほか、新たな医療機器等の製品化を行うために、圏域の医療機関や介護施設等のニーズと賛助会員とのマッチングを図る等、様々な事業を展開してきました。

令和 2 年度以降は、コロナウイルス感染症の拡大の影響により、三密の回避、マスク着用、うがい・手洗いの励行等を厳守しながら効果的な活動を図ってきたところですが、医療機関・福祉施設はもとより、あらゆる場面で人との接触を避けざるを得ない社会状況から、会議、セミナー、講演会、訪問調査等の中止を余儀なくされました。

しかしながら、そのような状況の下で、令和 2 年度はコロナ感染から医療側を守るというテーマ（医療従事者・救急隊員の保護）に取り組み、「エアロゾルボックス」2 商品の開発を支援し、製造・販売のマッチングを図って上市することができ、令和 3 年度は樹脂製の歯周ポケット測定器具「Pkensa」、不織布マスク用呼吸補助具「マスクサポート」の開発・販売を支援し、令和 4 年度は医療従事者の感染防止に資するための医療廃棄物容器電動開閉装置「ミューカス」の開発を行ってきました。

このような成果やマッチングを行ってきた経緯を踏襲し、今後更に新たな医療機器開発支援事業を充実させるために、今年度においてもこれまでと同様、下記 10 項目の指針を掲げ、事業を展開していきます。

- (1) 現在進行中の案件の具現化
- (2) 医療機関等から得たニーズの再検討
- (3) 大学とのマッチング協力の推進
- (4) 圏域外の部材供給先の探索と具体的な商談作り
- (5) これまでの実績の検証と今後の方向性の検討
- (6) その他必要な業務の実施
(既存人脈の活用、人材養成、賛助会員相互交流等)
- (7) 医工連携のビジネス化の推進
- (8) 各市・各県施策の横軸的役割化
- (9) 「医・工・福」連携の推進
- (10) 何でも相談機能の充実

これまでの
主な開発製品



また、圏域市長会会長である伊木隆司米子市長のインタビュー記事（令和 5 年 4 月 3 日付山陰中央新報）において、「圏域の医工連携を次の産業発展の起爆剤にしたいと考えている」と表明されていることも踏まえ、構成団体・賛助会員のみならず、圏域の医療機関・福祉介護施設・ものづくり企業が丸となって、圏域の発展に繋がるような取り組みを目指します。

【転倒しても骨折しにくい畳床】 高齢者福祉施設にモニタールーム開設！

昨年度からの重点項目「医工福連携」の一環として、島根大学総合理工学部環境デザイン学科の清水貴史准教授と積水成型工業出雲工場が共同開発された、衝撃を和らげる薄畳「MIGUSA CARE (みぐさケア)」と、賛助会員の社会福祉法人みずうみ（岩本雅之理事長・松江市）とのマッチングに取り組んできましたが、本年5月16日に、同法人の高齢者福祉施設「あさひ乃苑」の小規模多機能型居宅介護用の一室に「モニタールーム」が開設されました。

今後、宿泊やショートステイの利用者にこの部屋を使ってもらい、利用者の生の声を集めるとともに、利便性や汎用性、介護職員の負担軽減の効果などを確認するほか、新たな介護福祉機器の開発を担うメーカーや、機器購入に係る補助制度の創設を検討する行政、他の高齢者福祉施設関係者等との情報共有を図り、利用者にとってより一層安心・安全な居住空間の確保に繋げていきます。引き続き、このようなマッチングを継続しますので、ご意見、要望等をお寄せください。

また開設当日は、清水准教授の研究室の学生など9人も参加し、担当者から「みぐさケア」の特性の説明を受けながら設置作業を見学した後、その場で実際の使用感を体験しました。

※トイレ・洗面スペース・居室部分での設置作業の様子



【ビジネスマッチング 商談・展示会 2023 in 米子】開催！

〈中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業〉

「山陰(鳥取・島根)最大級の BtoB イベント！」ものづくり企業を中心に、圏域内外から幅広くエントリーを募り、企業間の取引拡大・連携強化を図る山陰最大級の商談・展示会が、下記のとおり今年度も開催されます。

- 日時：令和5年10月19日(木) 9:00~16:30
- 会場：米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール
- 参加費：無料
- エントリー受付期間：7月31日(月)まで (HP <https://www.shoudan.info/>)
- お問合せ先：中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会事務局
まつえ産業支援センター (TEL:0852-60-7101 FAX:0852-25-0300)

エントリー募集中！
詳しくは下記まで

ビジネスのご縁を結ぶ、山陰最大級のBtoBイベント
ビジネスマッチング
 BUSINESS MATCHING 2023
 商談・展示会 2023 in 米子
 10月19日(木)
 米子コンベンションセンター 1F多目的ホール
 エントリー企業募集中!!

【事務局からのお知らせ・お願い】

賛助会員企業の皆様へ：

- ・紹介ページの内容に変更等がありましたら、メールで変更内容をお知らせください。
- ・まだ紹介ページを作成されていない賛助会員は、随時申込みを受け付けています。
- ・製品、技術紹介ページも引き続き募集していますので、情報提供をお願いします。

構成団体の皆様へ：

- ・本協議会の活動推進のため、医療機関、福祉施設、介護施設等からのニーズを常時収集しています。紹介いただける施設等がありましたら、ぜひお知らせください。
- ・今年度の事業計画の一つである「医・工・福連携」を推進するため、賛助会員に加入いただける医療機関、福祉団体等がありましたら、ぜひ事務局にご紹介ください。

〈担当〉事務局：大江淳史・山根修 アドバイザー：眞野博光
 TEL：(0859)57-5226 Email：keniki-ikou@sea.chukai.ne.jp

情報募集中！

HP・QR

